

学校名 羽生市立岩瀬小学校
所在地 羽生市上岩瀬1756
電話 048-561-0803

1 本校の概要

本校は、羽生市の西部に位置する学級数14、児童数328名の中規模校である。校区内には、短期大学、高校、中学校、保育所等があり、羽生市のグローバルタウン構想の中核として、英語教育にも力を注いでいる。また、読書環境の整備や学校・地域・読み聞かせボランティアとの連携を図りながら読書活動を推進している。

2 本校の実践

(1) 実践の視点

- ・読書活動の充実
- ・家庭や地域との連携
- ・プレゼンテーション能力の向上

(2) 実践の概要

ア ビブリオタイム

本校では、毎週の金曜日の朝にビブリオタイムを設定し、自分のお薦めの本を紹介するビブリオトークを行っている。発表と準備を隔週ごとに行うことで、児童の読む本の量と質の向上を図っている。さらに、自分の考えを相手に効果的に伝えるためプレゼンテーション能力の向上も目指している。



<班で>



<クラスで>

イ 読書タイム

読書の時間を確保するために、毎週月曜日の朝を読書タイムとし、20分間読書に親しんでいる。

ウ 読み聞かせ

ボランティアの「ぼけっと」さんが、毎週月曜日の朝、来校し1クラスずつ順番に読み聞かせを行っているので、児童は読書に対する興味・関心



が高まっている。

エ 読書貯金通帳

低学年は、年間60冊、高学年は、年間6000ページを目標に読んだ本を読書貯金通帳に記録し、自分の読んだ本を足跡として残すことで、読書活動に意欲的に取り組んでいる。また、この目標を達成した児童には年度末に賞状を授与している。

オ 家読の日

毎月20日を「家読の日」とし、家庭でもテレビを消して20分を目安に親子で読書に親しむ機会を設けている。

カ おすすめの本リスト

校長先生のおすすめの本のリスト(中学年用)(高学年用)を配布し、発達段階に合った本を読むことも勧めた。リストの本を完読した児童は朝会でも表彰して、読書を奨励している。



キ 掲示物の工夫

- ・読書の木(目標の数の本を読んだら葉をもらい、本の題名・学年・名前を書いて貼る。)
- ・めざせ!心の金メダル(金、銀、銅のメダルをもらった人数を掲示)
- ・みんなで本を読もう(全校の月別貸出し数を掲示。昨年度より増えている。)



3 成果と今後の課題

(1) 成果

ア ビブリオトークへの取組により、読書量が増え、プレゼンテーション能力が向上した。

イ 学校図書館の整備が進み、児童は本を身近に感じ、貸出し数も増加した。

(2) 課題

ア 国語の授業との連携を図り、並行読書を進めていきたい。そのために、必要な本を準備していく予定である。

(3) おわりに

いろいろな働きかけを通して、児童の読書の量と質が向上している。今後もさらにステップアップを図りたい。